



埼P連 会報

No.206

主な内容

- 標語受賞者 1
- 県P連研究大会 2
- ファイト!フォー 3
- 会長から 4

発行/埼玉県 PTA 連合会 TEL 048-822-8561 発行人/会長 伊地知伸久 編集/会報編集委員会

本紙は各校PTAに一〇部送付しております。「PTA役員」と「学校」を中心に配布してください。ホームページでもご覧いただけます。



深谷市立花園
中学校3年
小澤 悠太

教育長賞

朝食べて

勉強 運動

絶好調

毎朝6時半に起きて家族5人全員で朝ごはんを食べる。

好きなメニューはごはん味噌汁。

他にも良い作品があったの選ばれてうれしかった。

教育長賞

体育・勉強

かかってこい

元気のひみつは

朝ごはん

朝ごはんは一人で食べる時とお父さんと妹といっしょに食べる時がある。標語で賞をもらうのは2回目なのでうれしい。



草加市立高砂
小学校4年
上野 安衣



朝霞市立朝霞
第二中学校3年
藤田 文香

会長賞

朝ごはん

食べて目ざめよ!

体内時計

早寝早起朝ごはん推進事業

みんなで食べよう!

朝ごはん

応募総数六七、一二三の

標語の中から選ばれました

たくさんのご応募

ありがとうございました

会長賞

わすれない

かばん

朝ごはん

あいさつ

毎朝6時半にお父さんが起きてくれる。

朝ごはんはお兄ちゃん達と3人で食べている。

標語はお父さんと考えた。表彰式は緊張したけどうれしかったです。



熊谷市立熊谷
西小学校2年
角田 琢磨



加須市立昭和
中学校2年
中島あゆみ

委員長賞

朝ごはん

ゆげたつ香りに

母の声

毎朝6時半に起きてお母さんと朝ごはんを食べる。

好きな朝ごはんはごはん味噌汁と半熟卵。

思ってもいなかった賞を頂いてうれしさと驚きでいっぱいです。

委員長賞

朝ごはん

家族の笑顔が

かくし味

毎朝6時半に起きて、朝ごはんを一人で食べたり姉と食べたりする。

みんなの標語を見て、笑顔があればおいしく食べられるとわかった。



加須市立樋遣
川小学校6年
島海 里紗

優秀賞

下記の子ども達が優秀賞に入選しました。
坂本麻衣(朝霞・朝霞第二小、6年)、関口 亮(江南・江南北小、1年)、廣澤李佳(加須・加須小、3年)、鈴木里彩(羽生・羽生南小、5年)、田中希望(神川・青柳小、3年)、前田俊宏(吉川・吉川小、4年)、羽鳥友里恵(皆野・国神小、6年)、加藤 礼(草加・栄中、3年)、菊池利奈(幸手・栄中、1年)、小野拓也(蓮田・黒浜西中、3年)、黒澤季美佳(小鹿野・長若中、2年)、野中俊秀(行田・南河原中、1年)、野沢裕太(伊奈・小針中、3年)、金鑽綾香(神川・神川中、3年)

第53回

埼玉県PTA研究大会

戸田市文化会館大ホール

研究大会

取材記

去る11月25日(土) 第53回埼玉県PTA研究大会が戸田市文化会館にて開催されました。

AM9時 事務局準備開始

10時 役員集合、全体会の後大会準備開始

12時 受付開始

12時半 新井金作副会長の開会の言葉で大会が開始されました。

研究発表は草加市立新里小学校による「児童の安全・安心を守る取り組み」として家庭・学校・地域の連携による防犯活動の報告発表と、春日部市立中野中学校による「朝食調理教室を通して食育を考える」として調理教室の様子が発表されました。

また、「埼玉野菜の魅力」と題して野菜のソムリエ小林かおる氏の講演がありました。最後に広報紙コンクール、功労者、標語入賞者の表彰を行いました。

第53回 埼玉県PTA研究大会宣言

今日、子どもの学習意欲や体力の低下が叫ばれ、家庭における食事や睡眠などの基本的生活習慣の乱れとの相関関係が指摘されています。

今年4月に、PTAをはじめ、社会教育関係団体、経済界などが参加して、「早寝早起き朝ごはん」全国協議会が発足しました。

現在、健康で明るい生活の基本となる食事、睡眠、運動などの正しい生活リズムを地域全体ではなく国民運動として、全国各地で、さまざまな活動が行われています。

今年度、埼玉県PTA連合会では、子どもたちの健全育成には基本的生活習慣の育成及び生活リズムの向上が欠かせないという観点から、毎朝、家庭で取り組める朝ごはんに焦点をあてて、早寝・早起き・朝ごはん推進事業を行っています。

子どものころは食生活を含めた基本的な生活習慣が形成されていく大切な時期です。朝食をしっかりとる習慣を身につけることは、生涯を通じて健康的な生活をおくる基礎を培うことにもつながります。

朝食は一日の生活のスタートであり、食卓を囲んでのコミュニケーションから思いやりや豊かな感情も育めるのです。


わたしたち埼玉県PTA連合会は、互いに情報交換や研鑽に努め、「朝食をしっかりとることを基点に、基本的生活習慣づくりの推進」に向けて取り組んでいくことをここに宣言します。

平成18年11月25日

埼玉県PTA研究大会

講演

〈演題〉埼玉野菜の魅力
〈講師〉野菜のソムリエ 小林 かおる



野菜ソムリエ
青果物健康推進委員会 ベジフルティーチャー
雑穀エキスパート
FM NACK5 報道情報センター キャスター

講演を聞いて
会報編集委員 山内 順子

一年中様々な野菜を食べる事のできる今、その時期旬な物と聞かれたら答えられない事もあるだろう。又、何かと子ども達に嫌われる事多い野菜も調理次第で改善できるのではないかと、この講演を聴いて改めて思いました。私達にとって大切な食を見直す良い機会となりました。そして成長過程の子ども達に必要な栄養のこともっと知り、少しでも良い食育ができる様この講演を通して感じようか。



広報紙コンクール

「広報紙は見出しが肝心！」

会報編集委員長 瀧野 彩子

これは埼玉新聞社の吉田俊一氏から県Pの会報編集委員がアドバイザーにお願いしたことです。新聞社では大組み(レイアウト)3年、見出し8年といわれるぐらい見出しは重要です。一番先に目につくところであり、それによって読んでもらえるかが決まってしまうといってもいいくらいです。「魅力的な見出しのついでに広報紙を探そう。」これが今年度の県P連の広報紙審査会の視点でした。

広報紙をつくる時、委員の皆さんはどんな内容にしようか、どこにどの記事を書こうかといろいろな話を話しながら話した事とありませんか。今思い返すと実はこれが結構楽しかったなあ・と感じていませんか？

たくさんの人と出合い、いろいろな話をする事。これがPTA活動のすばらしいところであり、この経験が豊かな大人をつくっていくのだと感じます。

さあ！あなたも広報紙をつくってみませんか。

金賞おめでとう

小学校PTAの部	あしおと	戸田市立新曾北小学校PTA
	ひろば	新座市立第四小学校PTA
	なでしと	秩父市立秩父第一小学校PTA
	やなぎ	騎西町立高柳小学校PTA
	こうぼう	三郷市立幸房小学校PTA
	風車	松伏町立松伏小学校PTA
中学校PTAの部	こだま	行田市立行田中学校PTA
	城址の風	行田市立忍中学校PTA
	しらさぎ	松伏町立松伏第二中学校PTA

埼玉県内の P T A 活動を紹介します

今回は大里、北埼玉、埼玉葛の P T A 活動です。ぜひ、参考にしてください。



大里

深小っ子フェスティバル

深谷市立深谷小学校 P T A 会長

小林 弘満

毎年「深小っ子」たちは夏休み中の一日間、『深小っ子フェスティバル』で盛り上がります。研修委員会が担当するお楽しみイベントです。今年で7回目を迎えました。前半は校庭でのゲーム大会。それが終わると、パンやおにぎりで早めの夕食を済ませます。日暮れとともに待ちかね、「校庭のど真ん中」でのキャンプファイアーに突入します。何しろ本物の火を焚くのですから主催者側は設営に大変神経を使います。しかし、子ども達にとってはパーチャルに



は無理な体力の体験になります！大人も子どもも大感動です。夏休みも終盤近く、そろそろ皆会いたくなる頃の様でもあり、親子で40人以上が参加します。実体験やコミュニケーションの大切さという意味でもずっと続けていきたい深小 P T A の夏の恒例行事です。

北埼玉

伝統は築くもの

行田市立行田中学校 P T A 副会長

中西知代子

昭和29年の発行以来、現在8名の部員により制作されています。広報紙作りに心がけているのは、アンケートや体験交換を通して、会員の声を反映させる、内容重視からレイアウトで表現するの記事の特性を生かし構成する、作る側より読む側の必要性を考慮する、校正は納得のいくまで行う、そして本校に存在する「行中魂」という精神を、広報紙「こだま」の骨格に置き制作していることなどです。伝統を守るといふ常識を少し見直し、伝統は築くものと言いつつ、直時、県審査、三年連続金賞受賞の先にあるこれからの、歩み出していける気がしています。



埼玉葛

三世代交流ゴルフ大会

松伏町立金杉小学校 P T A 会長

小島 朗

10月1日(日)に金杉小学校グラウンドにおいて金杉小学校区域連合自治会および金杉小学校 P T A 並びに地区老人会・グラウンドゴルフ愛好会による第7回三世代交流ゴルフ大会が開催されました。幼児3名、小学生61名、保護者34名、一般10名、老人クラブ57名、愛好会10名の計175名の参加があり、普段なかなか触れ合う事の出来ない地域の方々と楽しくプレーをする事ができました。特に初参加の小学生はお年寄りに指導していただきながら笑顔いっぱいゲームを興じていました。



これは心の教育や体験学習が必要とされる中、地域と P T A や老人会がグラウンドゴルフ大会を通じて、世代交流と地域の連帯を深め相互扶助の心を培い、家庭教育および地域教育の一助となるよう6年前から開催されている行事です。

関フ口千葉大会報告

家庭教育委員長 河井 純子

私は、第2分科会Dの研究発表者として参加して来ました。

この分科会は、意見交流を活発に行いたいとの意見から、少人数(60人)に設定されています。

研究発表内容が、共に地方(県・政令市)協議会での、家庭教育活動に関してでしたので、活発な意見が交わされました。また、協議会に関して考え方の違いなど、興味深い協議ができたと思えます。

このような研究大会は、形式だけと思われがちですが、ここから学ぶ大きな力を感じます。この力を、これからの活動に活かしていきたいと考えています。

「みんなでご飯よう」朝ごはんフォーラム

12月10日 深谷市岡部公民館にて

会報編集委員 桜井くるみ

熊谷市 P 連の新井さんから、朝ごはんのレシピ集をつくり、この活動を市民活動に発展させた経緯。寄居町 P 連の鈴木さんから、ハンディキャップをもつ子どもをとおして、生きるための食事の大切さなどが報告されました。会場からの発言も多く、スタッフもびびくりした程でした。朝ごはんの大切さを再確認し、親のあり方を考えさせられるフォーラムでした。

「報知」と「県P連の役割」



伊地知伸久
会長

PTA裁判について

平成18年11月1日に、さいたま地方裁判所にて「PTA裁判」の第1審判決が言い渡されました。

「PTAが、埼玉県PTA連合会(以下、県P連)に15万5,050円払え」という内容であり、県P連にとりまして歓迎すべき判決でありました。後日行われた理事会において県P連は控訴しないことを決議しましたが、相手方のPTAより控訴があり、東京高等裁判所に第2審の裁判が行われます。裁判はまだ続きますが、解決へ向け明るい光が見えてきたと感じております。

役員一同この裁判を早期に解決させるために引き続き努力してまいりますので、会員皆様のご理解ご協力をお願い致します。

県P連の役割について

今年度の活動も折り返し点を過ぎ、次年度の準備をする時期となりました。今年度会長を仰せつかって感じたことをお知らせして、今後の活動の充実のために参考にしていただければと思います。

県P連の役割は、大きく2点あると思います。

(1) 保護者の声を県教育行政に反映させる

学校の教職員は、県の職員です。さらに、学校の教育方針にも県が大きく関与しています。その県に対して保護者の意見を伝え、反映させるのは県の連合組織でしかできません。

また、国の教育方針についても日本PTAという組織を通して文部科学省に意見を伝えていきます。

(2) 単Pの活動支援

PTA活動の基本は、各単Pです。その単Pに、様々な情報提供、活動事例紹介、講師紹介、啓発活動、相談業務などを行って活動支援を充実させる必要があります。また、市町村P連、地区P連と連携・役割分担して相乗効果を発揮していきたいです。

PTAの意見を県へ

埼玉アミューズメント施設営業者協会(AOU)の地域懇談会に参加して

当日は埼玉県警察本部、埼玉県総務部青少年課の方など私も含め来賓9名、AOUの方達16名により懇談会が行われました。

はじめにAOUの活動内容、AOUの抱えている問題の説明がありました。AOUとしては青少年を客として迎え入れる側として青少年指導員養成講座や店舗管理者講習会等を行って非行の温床にならないように努力しているが特別な場合を除いて客を選択できないジレンマがあるようです。遊びに行っている時間であれば問題ないが16歳未満であれば午後6時以降、16歳以上18歳未満であれば午後10時以降の入場は禁止であるから(親が同伴であっても例外は無い)私達PTAはダメなものにはダメという強い意志で子どもに当

私たちのかわいい子ども達のために、教育環境の改善・発展をさせなければなりません。防犯対策、学力低下、いじめなどの課題解決のために保護者が力を合わせ

て取り組むことが大切であると思います。その手段として、各連合組織を含めたPTA活動の充実が必要であります。

環境対策委員長 藤田 良行

らなければならぬと実感しました。



埼玉県PTA連合会事務局

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5
TEL 048-822-8561
FAX 048-814-0757
Eメール saitama-pta@aoros.co.jp

この度、ホームページを開設しました。
<http://www17.ocn.ne.jp/~sai pren>
ぜひアクセスしてみてください!!

編集後記

私事で恐縮ですが、本年度は学校・地区・県の三つの会報紙に関わりました。忙しくはありましたが各組織の役割と重要性について深く考えることができました。それまで自分の子どもの通う学校にしか目を向けていなかった私ですが、地区全体の取り組みの大切さを感じ、さらに保護者の声を県に届けることができるのだと知りました。

現代は子ども達を取巻き様々な問題が噴出しています。だからこそ、親である私達PTA組織は連携体制を強化させ、子どもを守るべく努力しているのですね。

これからも会報紙を、親の輪を繋ぐ場として御利用いただければと思います。

会報編集委員

- 委員長 洲野 彩子(埼玉)
- 副委員長 関根 忠仁(南部)
- 委員 櫻井くるみ(大里)
- 委員 平田 令子(秩父)
- 委員 山内 順子(児玉)
- 小出 晴江(北部)
- 小出 重美(北埼玉)
- 南野 和治(東校長会)

会報紙に対するご意見をお待ちしています。